

# 日食情報交換会（9月26日 工学院大学にて）

## 編 集 部

1982年6月11日のインドネシア日食に向けて、全国各地で多くのアマチュア天文家が旅行や観測の準備に余念がないが、台風一過さわやかな秋晴れの9月26日、日食情報センターの主催による1983年日食に向けての情報交換会が工学院大学に於て開催された。

200名を越す出席者で会場は大盛況。今回の日食が前例を見ない大規模観測になる事を示していた。

日食情報センターの土屋氏の司会で議事が進行された。

### 1. 日食概況 山口 正 博

現在まで日食情報に発表された近時の日食予報の紹介から、1982年の日食の位置づけ、現在までに把握されている観測地の予報と情報について、概略が発表された。

### 2. 日食の局地予報 山 本 威一郎

コンピューター気違いの山本氏が3ヶ月余りかかって開発したNEC 8800マイコンを使用しての日食の局地予報計算の発表。山本氏の予報の精度の高さは定評があり、過去数回の日食時にも証明されている。

さらにディスプレイ画面上で日食のシュミレーションを行なった。ダイヤモンドリングやコロナまでが自在に画面に再現されるのは、圧巻。（天文と気象12月号参照）

### 3. 現地調査情報 秦 茂

6月にインドネシアに調査旅行をした秦氏より、現地のホテルの実状、食事のこと、交通手段から物価・賃金の事情に至るまで、さらにはジャワ美人の観測など、さすがは秦氏ならではの多彩な現地情報をスライド写真をまじえながら説明、詳細は日食情報№3を参照下さい。

### 4. 日食ツアー情報 木 村 精 二

既に来年の日食に向けて20チームを越す観測隊と、1000名を越す参加者があるといわれている各チームの進捗の様子が説明された。心配されたホテルの値上りはそれほどでもない模様。旅行者主導型の計画が多いので、観測計画について十分にお互いで話し合う事の注意があった。

### 5. 日食の観測法 榑 原 幸 雄

日食観測を初めて行う人のために過去数回の日食で専門的な観測を行ってきた榑原氏より食分写真の撮影からダイヤモンドリングやコロナの撮影法まで、さらに偏光やニューカークフィルター使用の専門的観測までの紹介があった。

短時間の皆既中に間違いなく観測を実行するには器材の十分な使い込みが必要。1980年インドで行った理大観測隊の録音テープで臨場感湧れる観測現場の様子を紹介し、くれぐれ

もあわてずにとの榊原氏の体験に基づく注意でした。

## 6. インドネシアの実状

佐藤 寿 治

秦氏と前後して、インドネシアを訪れた佐藤氏のインドネシア情報、秦氏と異って極めて真面目な着眼もありました。ジャワ島は火山が多いので、火山灰による影響で空が濁る事があるので要注意。